

平成17年
2005.2.28

特

Last Konagai
関町特集

ラスト

こ
な
が
い
の
あ
い
を
こ
め
て
い
ま
す

小長井

ま
よ
う
な
ら

小
長
井

町

2
月
28
日
関
町





数々の思いを胸に

2月20日(日)
記念式典を開催

おめでとうございませう。

今回、町功労者表彰を受けられたのは次の方々です。(敬称略)
※()内は在職種別・在職歴等、在職年数は切り上げています。

●自治表彰

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 森 藤治 (議会議員38年) | 坂口 照夫 (部落長8年) |
| 清水峰之進 (議会議員26年) | 増山 康好 (部落長9年) |
| 小柳 敏之 (議会議員14年) | 藤原 青春 (部落長8年) |
| 原 安弘 (議会議員14年) | 川本 義信 (部落長8年) |
| 平田 福美 (議会議員14年) | 田島 壽一 (部落長8年) |
| 山開 博俊 (農業委員21年) | 西山 敏勝 (教育委員9年) |
| 石田 鹿六 (農業委員15年・部落長16年) | 新宮 マス (教育委員10年) |
| 吉次 秀敏 (農業委員15年) | 尾形 紘行 (教育委員12年) |
| 陣内 勉 (区長14年) | 木下 信夫 (選挙管理委員8年) |
| 高畑 満 (区長6年) | 田崎 大作 (選挙管理委員15年) |
| 佐々木健馬 (区長14年・公社理事12年) | 矢竹 智雄 (選挙管理委員13年) |
| 原田 利成 (区長5年) | 森 春義 (民生児童委員21年・区長8年) |
| 井関修一郎 (区長2年・部落長4年) | 新宮 富男 (民生児童委員15年) |
| 内川 逸雄 (部落長6年) | 中尾 信子 (民生児童委員12年) |
| 土肥 一雄 (部落長6年) | 山口 文雄 (民生児童委員12年) |
| 横田 清續 (部落長5年) | 浦田 妙子 (民生児童委員22年) |
| 馬場 明 (部落長6年) | 池田 榮二 (消防団員38年・消防団長) |
| | 中村 春幸 (消防団員26年・本部分団長) |

2月20日(日)、自治体としての小長井町を閉じる記念式典が文化ホールで開催されました。記念式典では、開会あいさつ等につき小長井町功労者表彰が行われ、町の振興や産業・文化、教育など各般で町政の振興に寄与された方々や団体(69名・9団体)に、表彰状が贈られ、その功績がたたえられました。その後、県知事代理をはじめとする来賓の方々に祝辞をいただき、小長井小学校6年原口裕子さんと小長井中学校3年吉次美里さんが閉町にあたって思いを発表しました。最後に、さざんかコーラスのみなさんが小長井町賛歌を合唱。小・中学校の児童・生徒代表の手で降納した町旗が町長に手渡されました。そして、小長井は116年の長い歴史に幕を降ろしました。



▲来賓からの祝辞（左から）長崎県地域振興部横田部長、長崎県町村会横田副会長、県央地区一市五町合併協議会吉次会長

▲会場の表彰者の方々



▲壇上の来賓者の方々

▲表彰者のみなさん（右から）自治表彰（議会議員）森藤治氏、一般表彰（交通指導員）川本善英氏、（東京小長井会）木下雄弘氏

●一般表彰

【個人】

- 川本 善英（交通指導員14年）
- 小柳 榮（交通指導員14年）
- 鶴田 忠徳（交通指導員11年）
- 山崎 善久（学校医（内科）45年・国保運営協議会委員38年・社協役員30年）
- 佐藤 光治（学校医（内科）14年・国保運営協議会委員14年）
- 森 健哉（学校医（歯科）22年・国保運営協議会委員22年）
- 森 清文（予防接種協力医）
- 島崎 秋芳（社会教育委員23年・保護司17年・社協役員16年・文化財保護審議委員20年）
- 池田 輝義（国保運営協議会委員14年）
- 山口トミエ（母子保健推進委員26年）
- 山口 力（文化財保護審議委員14年）
- 藤川 秀昭（保育園長22年・社協役員16年）
- 尾形 省子（保育園長19年）
- 松本 堯之（自衛隊父兄会会長）
- 神尾 正幸（むらおこし実行委員会会長34年・公社理事13年・社協役員16年）
- 新宮 隆喜（漁業協同組合長8年）
- 森 郁子（婦人会会長18年・社協役員23年・公社理事12年）
- 森 アサノ（文化協会会長18年）
- 長橋ハツコ（社協役員12年）

【団体】

- 濱崎 英夫（ありあけ会会長16年）
- 中尾 房子（黄心樹会代表19年）
- 田中 政利（体育指導委員34年）
- 小柳 忍（体育指導委員25年）
- 池田 芳信（体育指導委員21年）
- 相馬 征志（体育指導委員18年）
- 山口 一成（北高来郡体育協会役員13年）
- 久田 敏幸（少年スポーツ指導者25年）
- 馬場 昭治（少年スポーツ指導者18年）
- 松井 和彦（少年スポーツ指導者27年）
- 中村 泰則（少年スポーツ指導者17年）
- 原田 正敏（少年スポーツ指導者27年）
- 田川 貞則（少年スポーツ指導者28年）
- 久保 丞治（少年スポーツ指導者30年）
- 池田 雪博（少年スポーツ指導者11年）
- 東京小長井会（ふるさと交流）
- 高来小長井ライオンズクラブ（ボランティア活動）
- 交通安全母の会（交通安全指導）
- 食生活改善推進協議会（食生活改善17年）
- 遠竹浮立保存会（伝統芸能）
- 井崎浮立保存会（伝統芸能）
- 長立会（伝統芸能）
- 釜つつじ会（国道美化活動20年）
- よつてむう会（ボランティア活動12年）

閉町に思う

小長井町の歴史を閉じるに当たり、児童・生徒2人がその思いを発表しました。

『閉町に思う』

小長井町立小長井小学校

6年 原口 裕子



私たちの町、小長井町は今日閉町し、3月1日から諫早市になります。昭和41年に町制がしかれて39年ぶりの大きな転機です。

私は、もうすぐ小学校を卒業し、4月から中学生になります。また、家の方も引越して高来町の方に移るので、6年間小学校で一緒に過ごした友達とも別れなければなりません。このことは、私にとって大きな転機です。

今年、私たち小長井小学校の6年

生は、先日の生涯教育でも私の級友達が発表したように、総合的な学習のテーマを「市町村合併について」と決め、市町村合併について様々な角度から調べました。どのように合併が決まっていたのか、新しい諫早市の仲間になる市や町のこと、そして、私たちのふるさと小長井町のこと、どれも新しい発見でした。

特に私は、ふるさと小長井町のことをもっと知りたいと思い小長井町のことを調べるグループに入りました。まず、調べたことは小長井の歴史です。明治22年にそれまでなかった小長井という地名が初めてできたこと、今の文化ホールの場所に小長井小学校があったこと、昭和41年に町制がしかれたこと、昭和45年まで田原小学校があったこと、昭和51年に大橋が完成したこと、平成2年に最初のフルーツバス停ができたことなど様々な歴史がわかりました。こういった歴史を調べていく中で、住みよい小長井町をつくらうというところでがんばってこられた方たちの苦労や努力が伝わってきました。

また、文化や自然についても調べました。長戸鬼塚古墳やオガタマノキ、井崎の浮立などの文化財のこと、

この土地の自然を生かした山茶花高原のこと、そして、多くの恵みを与えてくれる小長井の海のこと。いつも何気なく生活していて気づかなかった、ふるさと小長井のすばらしい宝物である自然や伝統を数多く感じることができました。そんな小長井町で生活できたことを誇りに思いました。

小長井町は閉町し大きな転機となりますが、このすばらしい小長井の宝物はなくなりません。新しい諫早市でもこの小長井の宝物を生かしながら、発展して行ってほしいと思います。そして、長崎県全体の発展をリードしていくような新諫早市となってほしいです。私は、4月から高来町に行き大きな転機を迎えます。これまでの友達と離れるので不安もあります。でも、合併すること、友達と同じ諫早市内の仲間ということになるので心強く感じることもできます。それに私の中にある小長井でのすばらしい「思い出」という宝物もなくなりません。私も、このふるさと小長井町で過ごした日々を忘れず、がんばっていかうと思えます。



▲町旗降納を務めた児童・生徒（左から）池田睦美さん（遠竹小）・竹田千華さん（長里小）・田川誠一さん（小長井中）・北口聡美さん（小長井小）

「閉町式を迎えて」

小長井町立小長井中学校

3年 吉次 美里

私たちの小長井町は、ついに3月1日に諫早市、多良見町、森山町、飯盛町、高来町と合併し、諫早市小長井町となります。諫早市になれば、どんなことが変わるのだろうか？と考えた時、今まで小学1年生から中学3年生まで体験した潮干狩り、泥んこになりながらも誰もが楽しんだ小長井ならではの町内行事が減るのではないかと思うときびしい気がします。

次に、中学校生活で考えると、部活動のことが気になります。今までは4町で県大会出場を目指していた

わけですが、合併すると多くの中学校の参加となり、県大会に出場することが難しくなってくると思います。でも、そのことにより、私たち一人ひとりが今まで以上に努力しなければという気持ちを持って部活動に取り組むようになるのではないかと



という期待もあります。また、今まで以上に多くの人と交流する機会が増えると思います。しかし、そのことよってこれから悩んだりすることもあるかもしれません。でも、そんな体験や経験を積み重ねることにより、自分自身を大きく成長させるチャンスだと思えます。そして、私たち町民の一人ひとりが成長することは小長井町をさらによりよく成長させることにつながっていくと思います。

最後に私たちは、この3月に中学校を卒業します。諫早市立小長井中学校の第1回目の卒業生となることを嬉しく思うと同時に小長井町民として精一杯頑張っていきたいと思えます。

◀県議会議員橋村松太郎氏の発声により会場の全員で万歳を三唱

生涯学習研究大会

21世紀に翔く

希望の町づくりをすすめる



町民が一堂に集い、人生を考える

▲開会を宣言する原口社会教育委員

2月6日(日)、ハートフルホールに約500人の町民が集い、第17回小長井町生涯学習研究大会が開催されました。

「あなたの生涯学習と町づくり」を大会のテーマに、小学生から一般までの8人が問題提起の意見発表を行い、助言者や会場からの意見を交えたシンポジウムが行われました。

昼食時には井崎浮立保存会によるアトラクションを挟み、午後か

『ジョギングクラブで学んだこと』

長里小学校6年 野副 美咲



日本中が沸いたアテネオリンピックで、わたしが一番心に残っているのは、女子マ

ラソンの野口みずき選手です。

昨年6月、長里マイペースジョギングクラブというのができました。走ることが苦手なわたしにとって、ジョギングクラブに入るのには、とても勇気がいることでした。「人にやさしく、自分にきびしく」ということは、わたしたち長里小学校の児童会目標です。「よし、自分にきびしくがんばろう」と、自分に言い聞かせてジョギングクラブに入ることにしました。

このごろ、走りながらよく思うことがあります。それは、自分の中に、「弱い自分」と「強い自分」がいることです。走り始めたころのわたしには、「弱い自分」しかいなかったと思います。しかし、野口選手の頑張りを見た今では、弱い自分が心の中で出てきそうになると、まだがんばれる、あきらめるなという「強い

自分」を感じることができるようです。強い自分を感じることができるようになってから、わたしは、走ることが好きになっていきました。また、野口選手に近づけたような気がします。

ここでは、シンポジウムでの問題提起の内容を要約して紹介します。

走ることを通して、わたしは、自分を見つめることができるようになったと思います。「弱い自分」も自分だし、「強い自分」も自分です。その2つの自分を、心の中で上手に住まわせることができるようになったと思います。決して「弱い自分」が嫌いなわけではありません。「強い自分」だけの人間にはなりたくないと思います。自分の弱さを大切にしながら、そんな自分を励ましていけるような人になっていきたいと思っています。小さな体で頑張った野口選手は、きつとそんな人だと思います。

だから、1位でゴールしたときも高ぶらず、「ありがとう」ございました」と、感謝の気持ちができる人なんだと思います。

走ることを通して、野口みずき選手を知ることができました。走る楽しさも知ることができました。そして、自分の知らない自分も知ることがで

きました。これからも、ずっと走り続けたいと思います。

『通学合宿で学んだこと』

遠竹小学校6年 久米 文弥

通学合宿というのは、公民館に寝泊まりし、そこから学校に通うというものです。名前は「遠竹あい愛塾」といいます。合宿では、「すいすい洗たく」「そうじ」「片づけ」の仕事をそれぞれの班で分担し、全て自分たちだけで行います。毎日役割を交代しながらの共同生活です。

ぼくがこの合宿生活で楽しかったことは、自由時間と「もらい湯」でした。自由時間では、みんなとトランプをして楽しみました。また、「もらい湯」では、ぼくたちの班は、公民館から一番近い中村さんのお宅にお世話になりました。

「こんばんは。一週間お世話になります。」と、あいさつをすると、「はい。いらつしやい。」と、とてもあたたかく迎えて下さいました。

「もらい湯」では、お風呂に入るだけでなく、合宿では見られないテレビ





▲シンポジウムでの問題提起者のみなさん



▲シンポジウム司会の島崎社会教育委員長(右) 助言者の山下町長(中央)と 長崎教育事務所 福元指導主事(左)

を見せていただいたり、おかしを食べながら、学校の様子などをおしゃべりすることも楽しみの一つでした。中村さんのおじさんとおばさんは、まるで自分の子どものように接して下さったので、とても感謝しています。

この通学合宿では、「もらい湯」の時の送り迎えやぼくたちが寝るまでそばにいてくださった消防団や青年団の方々、食事作りの時、料理のしかたを優しく教えてくださった食改の方々、夕方、公民館に帰った時に、「お帰り。」と出迎えてくださった老人会の方々、それから、この通学合宿を計画・準備、お世話をしてくださった校長先生や先生方、PTAの方々、たくさんの人にお世話になりました。

5泊6日。ぼくは、家族と離れて生活してみても、自分がどう変わったのか、何か成長したのか、まだ実感がありません。でも、仲間といっしょに力を合わせるこの大切さや家ではほとんど母がしている「すい事」「洗たく」「そうじ」「かたづけ」の仕事が、どれだけしたいへんであるかということにはよくわかりました。最後に、お世話になった全ての人にお礼を言って終わります。「本当にありがとうございました。」

『市町村合併について』

小長井町立小長井小学校6年

森本純莉・富永生穂・水口奈緒子・

田崎秀寿・黒田真璃亜

私たちは、先

生から「合併についてどれだけ知っているか」と聞かれた時、ほとんど答えられませんでした。

「合併で私たちのくらしはどう変わるのか？」ということが、この学習を始めたきっかけでした。

私たち6年生は、調べたいテーマごとにグループに分かれて、調べ学習を進めていきました。

1つ目はなぜ合併することになったのか合併の流れについてです。

2つ目は新諫早市のことについてです。

3つ目は身近なくらしについてとふるさと小長井町についてです。

私たちの疑問で一番多かったのがこのことです。最初、何も知らない私たちは、合併で、役場がなくなったり、フルーツのバス停がなくなったり、文化祭など町の行事もなくなるのかなと思っていました。しかし、役場の方にインタビューに行くと、まず、急に何もかもかわるわけではないので、合併後も安心して生活して下さい。と、いう答えが返ってきました。町内の大きな行事をどうするかについては、合併後も話し合いを続けて決めるそうです。

あと1カ月で小長井町は閉町し諫早市になります。私たちのふるさと小長井町には国指定天然記念物であ



る「オガタマノキ」をはじめ、多くの文化財や山茶花高原やフルーツのバス停などの施設、そしてなにより美しい海や山があります。

私たちはこの学習で、ふるさと小長井町のすばらしさを感じ、新「諫早市」のことがわかってきました。私たちが6年生の時に「諫早市」になったことは、絶対忘れないと思います。そして、小長井町の良いところを生かして、新しい諫早市がどんどん発展してほしいと思います。

『新しい挑戦』

～新任学生会長になって～

小長井中学校2年 山崎 卓

僕は昨年12月に行われた生徒会役員改選選挙において、新しく生徒会長を任されることになりました。

なぜ僕が生徒会長に立候補したかというと、その一つに、人前に立ってない自分を変えたいという思いがあったからです。仲のよい友達といえる時は、活発に話したり、まとめ役になっている僕ですが、集会など大勢の人がいる前になると、緊張して話せなくなってしまう。あんな話をしたり、作文を読んでいると声が震えて、言葉も言い間違えたりします。僕はこんな自分を変え、人前でも堂々と立てるようになりたいと思ったのです。そのためには慣れること、何事にも挑戦してやり遂げ、自分に自信を持つようになること





▲井崎浮立保存会の皆さんによる
昼休みのアトラクション



(前ページからの続き)
だと思えました。中学校最後の1年間を人の役に立つことで自分に自信を持てるようになりたいと考えました。

今、小長井中学校では頭髮の自由化について話し合っています。この頭髮の自由化は数年来続いている問題です。生徒のみんなは1日でも早く頭髮の自由化を認めてほしいと願っています。しかし、中学校には生活のきまりがあります。そして現在そのきまりを守れていない人がいます。シャツを出していたり服装がだらしない人、校内にお菓子の包み紙が落ちていたりもありました。僕はこのような現状で頭髮を自由化することにとっても不安を感じています。今のまま自由化をしたら、小長井中学校はきまりの守れない、だらしない学校になってしまうのではないかと。この問題を解決するには、まず生徒一人ひとりの生活に対する意識をもっと向上させなければならぬと思います。

僕は、自分の意見を持ち、それを発言することができます。しかしただ要求するだけでは実現できません。認められるようになるための努力が必要なのです。これが今、小長井中学校に求められている課題だと思います。

僕は精一杯力を尽くし、より良い学校を作り上げ、1年後には自信を持って「僕が小長井中学校生徒会長

です。」と言えるようになりたいと思います。

『フェンシングを通して学んだこと』
諫早商業高等学校3年 古賀 貴子

私は諫早商業に入学し、フェンシング部に入部しました。ただ、「やってみよう」という軽い気持ちだけで入部しました。

わたしはこのフェンシングという競技を通して数々の事を学びました。1つ目は、「人から物事を教わる時は素直な気持ちで教わらなくては全く自分の身につかない」ということです。先生や先輩、チームメイトが自分のためにアドバイスをしてくれるのだから、ありがたい事だと思います。2つ目は「物事から逃げない」ということです。毎日の練習がきつくて嫌になったり、先生からひどく怒られてしまったりしても、辞めたいと何度も思いました。でも、逃げていてもいつかは通らなければならぬのだと思います。「ここを乗り越えれば自分は今より必ず強くなれるんだ」と自分に言い聞かせて3年間続けることができました。3つ目は「継続は力なり」という言葉です。この言葉は本当にその通りだと思います。私は3年間始発の電車

で学校へ行き朝練をしていました。始発で行かなくても充分朝練には間に



合うのですが、友達と早く行ってみんなより先に練習をしていました。先生から「毎日続けることが大事なんだぞ」と言われ、その言葉を信じ、毎日続けた結果、県大会で2度の優勝を経験することができました。4つ目は「仲間の大切さ」です。団体戦の時は同じ諫早商業というチームで戦いますが、個人戦になるとライバルになるわけです。お互いに切磋琢磨しながら、毎日の練習を頑張ってきました。このチームメイトがいたからこそ頑張ったのだと思います。

最後に、私はフェンシングという競技に出会えて本当によかったと思います。フェンシングは私を身体的にも精神的にも強く大きく成長させてくれたし、様々なことを教えてくれました。フェンシングを通して学んだことは、これから生きていくうえで必ず私を支えてくれるはずだと思います。

『福祉を目指したきっかけ』
現場での経験

みさかえの園あゆみの家児童指導員 奥平 伸理
私は現在、重症心身障害児・者入所施設みさかえの園あゆみの家で働いています。

私が働いて、まず最初に感じたことは、広い視野を持たなければならぬということでした。入所者の方の様々な行動やサインに対して広い



▲記念講演「生きる限り、大きな花を咲かせたい」の講師 正司花江さん(右)

視野を持ち、様々な角度からいろんな可能性を考えている先輩に対し、自分の考えは非常に浅いものでした。福祉の現場でプロとして働くには、様々な角度から物事を観察していかねければ良い援助は行うことが出来ないと感じました。

2つ目は、人と関わる事の難しさで楽しさです。それぞれの入所者の方々に合った方法でコミュニケーションをとっていくと共に、自分自身の人間性も高めていくことが必要だと感じました。『安心感・信頼感』を持つて頂くには時間もかかりますが、コミュニケーションがうまくとれ、入所者の方々から関わりを求めてきた時には非常に嬉しく、仕事をしていて良かったと思う瞬間です。

また、私たちのように自由に出出する事が出来ない入所者の方々にとって、バスドライブや屋外での活動は楽しみでもあり、日々を楽しく過ごす上で大切なものです。いかに楽しい活動になるかは私たち職員がレクリエーション等の知識を持ち、アイデアをたくさん出せることが必要になります。ただ参考書などに載っているような事をやるのではなく、自分たちで考えていく『発想力・創造力』も福祉の現場で働く上では非常に重要であると感じました。また、その活動や行事を職員自身が楽しむことも大切であると分かりました。



入所者の方々は職員のことをよく見ています。楽しくない態度をとると入所者の方々もそれを感じ取り、楽しくないと思ってしまうこともあるのです。一緒に楽しむ事がより活動を楽しく、良いものにするのだと感じました。

振を極め、青壮年部員の多くは諫早湾干拓等の土木工事に従事し生活に必要な収入を得るようになりました。しかし、「本業である漁業で生活したい」という声が非常に多く、青壮年部では新たな漁業を導入するため、県の水産試験場や水産普及センターと協議を重ねた結果、かつて諫早湾奥部の干潟域にはカキ床が発達していたこともあり、カキ養殖業の導入に取り組みすることにしました。

『諫早湾における

カキ養殖業の導入について』 小長井町漁業協同組合 青壮年部



松永 貴行
私は、定置網やタ
イラギ漁等を営む家

の長男として生まれ、小さい頃からいつも海で遊び、また時には親の仕事の手伝いをしたりしていました。平成9年に高校を卒業したあと、すぐに後継者として漁業に従事し同時に漁協青壮年部に加入しました。

かつて諫早湾では、潜水器によるタイラギ漁業が非常に盛んでしたが、資源の激減により平成5年以降12年連続で休漁状態となっていました。また、もう一つの基幹漁業であるアサリ養殖業は、近年夏季に大量斃死が頻発し、生産が不安定な状態になっています。

これらの原因から、漁業経営は不

さらに、もう一つの課題としてブランド化を推進していくことも大事なことだと思っています。諫早湾で生産された養殖ガキに対する直売所での消費者の評価は高く、国内の他産地のものよりも非常に優れているといわれています。今後は、この点に着目し、カキのグリコーゲン量やアミノ酸量等栄養成分の分析を行い、科学的な裏付けをもとに他産地と差別化し、併せて宣伝活動等にも積極的に取り組むブランド化を図っていききたいと考えています。



▲完成した休憩所(右手前)と観覧車「フラワーホイール」(左奥)



▲ボールプール「ワクワクプール」 ▲幼児用ムービング遊具「チュリー」 ▲幼児用遊具「プレイシェパー」 ▲コイン式機関車「高原列車」

山茶花高原の新たな施設

1月31日(月)、山茶花高原ピクニックパーク光の丘に完成した新たな施設の安全な稼働を祈願する竣工式が行われました。

今回整備されたのは、観覧車、ボールプール付きの休憩所、コイン式レール機関車、幼児用遊具施設などです。町では、完成を記念して2月11日から13日の3日間、町民のみなさんに利用券を配布し、お披露目しました。もうすぐ春の行楽シーズン。あなたも「安・近・楽(安い・近い・楽しい)」の山茶花高原へ出かけてみませんか。



▲雪がちらつく光の丘で行われた神事



▲中央左から矢竹さん・吉野さん・増山さん

国防に就く若い力に熱いエール

2月8日(火)、役場会議室で、平成16年度自衛隊新入隊員激励会が開催されました。

本年度本町からは大学生1人と高校生2人の3人が入隊しました。激励会では、主催者の自衛隊父兄会松本会長や来賓の山下町長、自衛隊長崎地連古達副部長さんから激励の言葉や記念品が贈られ、3名を代表して増山貴仁さんがお礼の言葉を述べました。入隊者は次のとおりです。(敬称略)

■増山貴仁(海上自衛隊一般幹部候補生)、吉野清貴(海上自衛隊曹候補士)、矢竹優太(陸上自衛隊2等陸士)

シンプルですっきりした建物の外観



▲トレーニングルーム



▲サウナルーム

▲炭酸カルシウムの人工温泉

▲マッサージ機完備の休憩室

玄関前で行われた竣工式の神事



健康づくりとふれあいの場に

井崎名のさざんか会館横に小長井健康センターが完成しました。1月31日(月)、関係者が集まり竣工を祝い、今後の安全で円滑な運営を祈願しました。

健康センターは、炭酸カルシウムの人工温泉やストレッチや筋力トレーニングなど最新の健康器具を備えていますので、みなさんの健康増進とふれあいの場にとご活用ください。町では、完成を記念して2月3日から8日まで全町民に、10日から20日までは国民健康保険被保険者に無料開放しました。

閉町を記念し小長井の歴史を綴る

町では、この度の閉町を記念し閉町記念誌「小長井伝承・伝えたい記憶、残したい風景」と広報紙PDF版DVD-ROM「ハートフルこながい・風」を制作しました。

記念誌は、明治22年の小長井村誕生から現在まで116年間の歴史を時系列に写真中心の書籍にまとめ、DVD-ROMでは、昭和33年創刊の小長井公民館報から平成16年12月号まで520号分のハートフルこながいを電子文書化し劣化の少ないDVD-ROMに納め、検索や引用が簡単できるようにしました。

そして、これらは2月に町内の各世帯に配られました。



▲閉町記念誌(左)と広報紙DVD-ROM(右)

まちの話題



合併協議会の最終報告

■ 報告事項 ■

- ① 県央地区一市五町合併協議会の廃止について
3月1日から新市を設置するため平成17年2月28日をもって廃止。
- ② 諫早市職務執行者について
新市長が決定されるまでの市長職務執行者は飯盛町松原英郎町長に決定。
- ③ 財産区について
高来町の分収林について財産区を設置する計画であったが、地区住民の理解が得られなかったことなどにより、設置を断念。

新市に向けた

最初の人事異動を発表

1月31日付けで人事異動が内示されました。小長井支所にかかる分は次のとおりで、支所長に久田敏幸氏(57)、各課長には現町職員が配置されました。また、人事交流として小長井支所から本庁へ11名、本庁から小長井支所へ2名が配置されました。

● 小長井支所関係

◎ 市長部局

○ 支所長

久田 敏幸(総務課長)

○ 総務課長

山口 一成(企画振興課長兼情報政策係長)

総務課参事兼主任

山口 正範(諫早市農業委員会事務局参事補兼主任)

毎熊 和彦(総務課参事兼行政管理交通係長)

総務課主任(併任選挙管理委員会事務局)

森 光徳(企画振興課企画係長)

総務課主任

山口 修(企画振興課振興広報係長)

総務課(併任選挙管理委員会事務局)

中村 恵三(総務課財務係)

総務課

清水 憲之(環境水道課水道係)

石丸美和子(総務課行政管理交通係)

松坂 健吾(企画振興課情報政策係)

向井ヤスヨ(総務課)

○ 税務課長兼会計課小長井分室長

種河 清(小長井町税務課長)

税務課参事兼主任兼会計課小長井分室参事兼主任

田川 貞則(税務課参事兼町民税係長)

会計課小長井分室主任兼税務課主任

前田 恵子(小長井町出納室参事兼決算係長)

税務課兼会計課小長井分室

中村 剛(税務課資産税係)

○ 健康福祉課長

本多 豊喜(福祉保健課長)

健康福祉課参事兼主任

村田みち子(福祉保健課課長補佐)

徳永 清剛(社会福祉協議会事務局長)

健康福祉課主任

佐藤美奈子(福祉保健課参事兼社会福祉係長)

健康福祉課

増山 義洋(住民課保険年金係)

小柳 由紀(住民課保険年金係)

谷口 武晴(福祉保健課社会福祉係)

赤星 紀子(福祉保健課保健福祉係)

○ 住民環境課長

島田 知昭(住民課長兼保険年金係長)

住民環境課参事兼主任

松井 安範(環境水道課参事兼環境係長)

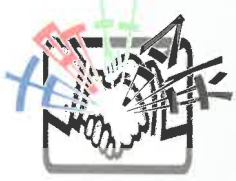
住民環境課主任

木下 恵三(住民課戸籍係長)

住民環境課

小林美由紀(住民課戸籍係)

田島 力(総務課行政管理交通係)



④市民税の均等割額について

第4回合併協議会（平成14年10月3日）にて住民税均等割の年額が2,500円と確認されていたが、法改正により平成16年4月1日から3,000円になったため、これに統一することを再度確認。

⑤国民健康保険被保険者証の有効期限について

第22回合併協議会（平成16年10月12日）にて、有効期限を複数年にする要望を受け再検討されていたが、滞納処理の關係上有効期限は1年間にし、納付相談を増やすことに決定。

⑥閉市式、閉町式、開市式のスケジュールについて

合併前後の主なスケジュールは次のとおり。

- 1月30日(日) 高来町閉町式
- 2月11日(金) 多良見町閉町式
- 2月13日(日) 飯盛町閉町式
- 2月20日(日) 小長井町閉町式
- 2月26日(土) 諫早市閉市式
- 2月27日(日) 森山町閉町式
- 2月28日(月) 1市5町閉庁式
- 3月1日(火) 諫早市開市式
- 4月10日(日)

市長・市議会議員選挙

◎産業振興課長

- 田川 融(下水道集落排水課長兼農林水産課長
産業振興課参事兼主任(併任農業委員会事務局)
- 吉野登美子(農業委員会事務局長)
- 産業振興課主任
- 毎熊 聡(教育委員会参事兼生涯教育係長)
- 宇野 和利(農林水産課農政係長)
- 産業振興課
- 田中 正和(農林水産課農政係)
- 古賀 文晴(議会事務局庶務係)

◎建設課長

- 江口 正英(土木課長)
- 建設課参事兼主任
- 川野 福美(振興公社事務局長)
- 建設課主任
- 平古場和博(土木課参事兼土木係長)
- 西崎 義彦(企画振興課係長(振興公社派遣)建設課)

木下 将太(土木課土木係)

◎下水道課長(併任水道局小長井分室参事)

- 高下 護(教育委員会町史編纂課長)
- 下水道課主任(併任水道局小長井分室主任)
- 久保 丞治(下水道集落排水課参事兼第一係長)
- 下水道課主任(併任水道局小長井分室主任)
- 中村 隆幸(下水道集落排水課参事兼第二係長)
- 下水道課主任(併任水道局小長井分室主任)
- 川原 盛充(諫早市土木部土木総務課)
- 下水道課(併任水道局小長井分室)
- 瀧川 徳臣(下水道集落排水課第二係)
- 原田 政和(福祉保健課長寿介護係)

◎水道局

- 水道局小長井分室長(併任下水道課参事)
- 原口 正繁(環境水道課長)
- 水道局小長井分室主任(併任小長井支所下水道課主任)
- 中島 賢一(環境水道課参事兼水道係長)

◎教育委員会

- 小長井分室長兼小長井公民館長
- 田島 光(教育委員会社会教育課長)
- 小長井分室参事兼主任
- 松井 和彦(出納室長)
- 小長井公民館主任兼教育委員会小長井分室主任
- 中村 春幸(福祉保健課参事兼長寿介護係長)
- 高来小長井給食センター主任
- 龍石 順子(北高地区給食・衛生組合係長)
- 小長井中学校
- 石井 和子(教育委員会)

●本庁への転勤

- 文化課参事
- 永瀨 高信(教育委員会学校管理課長)
- 総務部総務課参事(監査委員事務局参事)
- 梅林 弘幸(議会事務局長)
- 企画振興部地域振興課主任
- 富田 和彰(総務課合併協派遣)
- 農業委員会事務局主任
- 竹田 俊郎(総務課合併協派遣)
- 財務部財政課主任
- 田川 浩史(総務課財務係長)
- 財務部資産課主任
- 井手 洋一(税務課資産税係長)
- 財務部市民税課
- 吉永美奈子(税務課町民税係)
- 健康福祉部高齢介護課
- 寶藏寺朝美(住民課保険年金係)
- 健康福祉部保護課
- 黒木 敬治(下水道集落排水課第一係)
- 生活環境部廃棄物対策課(泉央南広域環境組合派遣)
- 馬場 賢吾(総務課泉央南派遣)
- 水道局管理課
- 金子 洋二(企画振興課振興広報係)

募集

小型船舶免状の更新・失効講習

入枝海事事務所
TEL 099-281-7753

■対象 有効期限が1年以内に切れる免状及び失効している免状（更新…有効期限が平成17年4月25日～平成18年4月24日、失効…有効期限が平成17年4月24日以前の免状）

■日時 4月23日（土）受付9時～、講習9時30分～、更新1時間、失効講習2時間20分、当日申し込み可能

■会場 諫早文化会館

■持参品 海技免状、料金（更新9,500円、失効16,000円、講習・申請・登録・写真・郵送料等込み）

※できるだけ事前に予約してください。

募集

働きながら、勉強できる訓練校

諫早大村高等職業訓練校
TEL 0957-22-0036 FAX 0957-22-9397

■コースと期間

【平日夜間】

●月8回2年間…木造建築科・建築設計科、●週1回半年間…CAD（初級科・中級科・実践科・機械設備科）・インテリアコーディネーター科、●月2回半年間…電子納品学習会・建築基準法学習会・木造大工伝承会、●4月～6月…2級建築士短期特訓科

【水曜日昼間】

●週1回半年間…CAD初級科・インテリアコーディネーター科

【その他】

●3月13日・20日（日）14時～16時…無料建築CAD設計体験教室

■場所 長崎県立諫早技能会館

■申込期限 3月31日（木）

※二級建築士を目指す方へ

高校卒業以上の方であれば、建築に関する仕事をしながら、当訓練校で2年間勉強すると、実務経験年数が2年以上で二級建築士を受験できます。

法律

違法年金担保融資対策法が成立

福岡財務支局長崎財務事務所
TEL 095-822-4271

近年、違法な年金担保融資が社会問題となっていることから、第161回国会において貸金業規制法の一部改正が可決され、平成16年12月28日から施行されています。

主な内容は次のとおりです。

1. 貸金業者は、年金等受給者の借入意欲をそそるような表示や説明をしてはならない。
2. 貸金業者は、貸付金の返済に年金等が振り込まれる銀行口座等の預金通帳やキャッシュカード、年金証書などの引き渡しを求めたり保管する行為をしてはいけない。
3. 上記2の違反者には、1年以下の懲役または300万円以下の罰金、または併科。上記1・2の違反者は行政処分の対象。

健康

健康テレフォン

長崎県保険医協会
TEL 095-826-5511

【3月のテーマ】

（月）血圧はどこまで下げたらよいか

（火）股関節の痛み

（変形性股関節症について）

（水）子供の救急シリーズ

その③夜のせきこみ

（木）目の痛み

（金）入れ歯が合わなくなった

（土・日）女性の下腹痛

（祝日）前日のテープ



戸籍

新市での印鑑証明書の交付方法

住民課戸籍係（小長井支所住民環境課）
TEL 0957-34-2111

■新市での印鑑証明書の発行には、従来どおり印鑑登録証が必要です。また、代理請求の場合には請求者の住所・生年月日の記入が必要になります。

■新市の印鑑登録証は、印鑑証明書を交付する場合に交換しますので、早急に交換する必要はありません。代理請求される場合には、交換してよいか、その意志も伝えていただくとスムーズに新印鑑登録証に変更することができます。

お礼

ありがとうございました

寄付や香典返しへのお礼

【社会福祉協議会へ金一封】

●香典返し

故 田川 幸男様

遺族 田川 忠隆様（小川原浦三）

故 宮崎 敏美様

遺族 宮崎 エイ様（釜一）

故 池田 政次様

遺族 池田 静子様（黒仁田）

管内の交通事故発生状況

1月末現在	発件数	死者数	傷者数
諫早市	57	0	75
前年比	-6	±0	+1
森山町	5	1	6
前年比	+3	+1	+3
高来町	5	0	10
前年比	+1	±0	+5
小長井町	0	0	0
前年比	-3	±0	-5

■3月中の交通事故巡回相談

3月23日（水）10時～16時

諫早市役所にて

長崎県交通安全対策課

TEL 095-826-4421

くらしの情報

Living Information



人のうごき

17年1月末（前月との比較）

■人口	6,687人	(+ 2)
男	3,030人	(± 0)
女	3,657人	(+ 2)
■出生	1人	(± 0)
■死亡	5人	(- 3)
■転入	20人	(- 5)
■転出	14人	(+ 4)
■世帯数	2,480戸	(+ 3)

公共施設の電話帳

小長井町役場 (代)	3 4 - 2 1 1 1
文化ホール	3 4 - 2 2 0 1
山茶花高原ピクニックパーク (ハーブ園)	(代) 3 4 - 4 3 3 3
おがたま会館	3 4 - 3 0 3 4
さざんか会館	3 4 - 2 9 6 6
健康センター	3 4 - 3 1 3 8
築切公民館	3 4 - 2 4 6 0
井崎公民館	3 4 - 3 3 0 8
小川原浦公民館	3 4 - 2 0 3 2
長戸公民館	3 4 - 2 2 6 4
牧公民館	3 4 - 3 1 0 3
足角公民館	3 4 - 3 5 2 7
川内公民館	3 4 - 2 4 0 0
船津公民館	3 4 - 3 3 7 2
田代一公民館	3 4 - 2 4 0 5
田代二公民館	3 4 - 2 0 3 1
小長井駐在所	3 4 - 2 2 6 6
長里駐在所	3 4 - 2 1 5 3
消防二分団詰所	3 4 - 4 2 0 8
消防三分団詰所	3 4 - 2 9 3 3
消防四分団詰所	3 4 - 2 1 4 6
消防五分団詰所	3 4 - 3 1 5 8
消防六分団詰所	3 4 - 3 1 0 6
消防七分団詰所	3 4 - 3 1 0 7
小長井中学校	3 4 - 2 0 0 3
小長井小学校	3 4 - 2 0 0 2
遠竹小学校	3 4 - 2 0 4 5
長里小学校	3 4 - 2 1 0 2

募集

国家公務員採用試験

人事院九州事務局第二課試験係
☎ 092-431-7733

■職種 ①I種試験、②II種試験、③国税専門官、④労働基準監督官、⑤法務教官

■受験資格 ①昭和47年4月2日～昭和59年4月1日生まれの人、昭和59年4月2日生まれで平成18年3月までに大学卒業・卒業見込及び人事院が同等と認める人。②昭和51年4月2日～昭和59年4月1日生まれの人、昭和59年4月2日生まれで平成18年3月までに大学・短大・高専を卒業・卒業見込及び人事院が同等と認める人。③昭和51年4月2日～昭和59年4月1日生まれの人、昭和59年4月2日生まれで平成18年3月までに大学・短大・高専を卒業・卒業見込及び人事院が同等と認める人。④昭和51年4月2日～昭和59年4月1日生まれの人、昭和59年4月2日生まれで平成18年3月までに大学・短大・高専を卒業・卒業見込及び人事院が同等と認める人。⑤昭和51年4月2日～昭和59年4月1日生まれの人、昭和59年4月2日生まれで平成18年3月までに大学・短大・高専を卒業・卒業見込及び人事院が同等と認める人。

■申込期間 ①4月1日(金)～8日(金)、②4月13日(水)～22日(金)、③④⑤4月1日(金)～15日(金)

■1次試験 ①5月1日(日)、②6月19日(日)、③④⑤6月12日(日)

■申込用紙請求方法 返信用封筒(角形2号、140円分(国税専門官については120円分)の切手貼付、宛先明記)を同封した封筒に、請求する試験名を朱書きし下記へ送付してください。

〒812-0013
福岡市博多区博多駅東2-11-1
人事院九州事務局第二課試験係

健康

ご利用をお待ちしています

小長井健康センター
☎ 0957-34-3138

小長井健康センターは、2月10日から業務を開始しています。

炭酸カルシウムの人工温泉と最新のトレーニングシステムで健康増進と体力の保持・向上、そして町民みなさんの交流の場としてお役立てください。

■入館料

町民…大人1回300円、子供200円

■営業時間 10時～21時(入館は20時まで)、定休日前日は18時閉館

■休館日 毎週水曜日(水曜日が祝日の場合はその翌日)

募集

危険物取扱者試験

(財)消防試験研究センター長崎県支部
☎ 095-822-5999

■試験の種類

甲種、乙類(第1類～第6類)、丙種

■試験日時 6月19日(日)10時

■諫早地区試験会場 諫早農業高等学校(受験対象:一般・高校生)

■願書受付期間 4月15日(金)～27日(水)当日消印有効

■願書用紙入手先 県内各消防本部他

募集

法廷翻訳をやってみませんか

長崎地方裁判所 ☎ 095-822-6151
☎ <http://www.courts.go.jp/>

近年、外国人が被告人となる刑事事件が増えており、言語によっては通訳人候補者が十分ではありません。

そこで、裁判所では通訳人候補者を広く募集しています。

資格は特に必要なく、面接などの手続きを経た上で、通訳人候補者として名簿に登載されることになります。

語学に堪能で法廷通訳への意欲のある方は、長崎地方裁判所刑事訟廷事務室庶務係にお問い合わせください。

schedule

1	火	開市（開庁）式（8：00～本庁および各支所庁舎にて）
"	"	飼えなくなった犬の引き取り（9：00までに小長井支所へ、次は15日）
2	水	燃えないゴミ収集日（8：30までに各地区のゴミステーションへ）
3	木	社協心配ごと相談（13：30～16：30さざんか会館にて、次は17日）
6	日	古紙類リサイクル（古新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック・古着） （9：00～12：00長里町民グラウンドストックハウスへ）
8	火	妊婦教室（9：30～12：00文化ホールにて）
"	"	乳児健診（13：00～13：15受付、文化ホールにて）
10	木	人権相談・行政相談（10：00～15：00さざんか会館にて）
14	月	ノーマライゼーションをすすめる会（10：00～12：00文化ホールにて）
15	火	育児学級（13：00～13：15受付、文化ホールにて）
16	水	ペットボトル収集日 （8：30までに各地区のゴミステーションへ）
"	"	小長井中学校卒業式（9：30～中学校体育館にて）
"	"	育児サークル「わくわくクラブ」（10：30～12：00文化ホールにて）
17	木	あけぼの会健康相談（10：00～12：00文化ホールにて）
"	"	小長井町断酒懇談会（19：00～21：00文化ホールにて）
18	金	婦人の健康づくり学習会（9：30～12：00文化ホールにて）
"	"	長里・小長井・遠竹小学校卒業式 （長里・小長井小9：30～、遠竹小10：00～、各小学校体育館にて）
23	水	粗大ゴミ収集日 （遠竹・井崎・小川原浦地区、8：30までに各地区のゴミステーションへ）
25	金	粗大ゴミ収集日 （長里・牧・新田原・田原地区、8：30までに各地区のゴミステーションへ）

こちら編集室

「あれ、「ハートフルこながい」は2月号が最終号だったのでは？」とお思いではないでしょうか。そうです。タイトルをよく見直してみてください。これは「ハートフル」ではないのです。

3月1日から新市「諫早」がスタートしますので、毎月1日発行のハートフルは2月号で終わりました。しかし、2月20日に本町最後にして最大のイベント閉町式があり、その記録を残さないわけにはいけません。また、市報創刊号発行の3月20日までの情報をなんとかしなければならぬということで、こうやってバタバタと駆け込みの特別号を発行することになりました。

これが本当に最後になりますので、見納めにしていただければと思います。

なお、3月以降もそれぞれ支所には広報担当が残り、地域の情報を本庁へつなぐようになっていますので、今後とも地域の情報提供など、「協力をお願いいたします。」

（このコラムもこれがラスト「サム」だい）

小長井
ラストこながい

おぼろげに

「小長井は山も海も人もよかった」
「こゝに住みたい水をのむ」

これは、昭和の芭蕉と呼ばれた放浪の俳人・種田山頭火が、この地を訪れたときに呼んだ句のひとつです。

このたびの市町村合併により、北高来郡小長井町という地方自治体がなくなります。

3月1日からは、諫早市小長井町となり、法人格の小長井はなくなりますが、小長井がどこかに行ったり、消えてしまったりするわけではありませぬ。

小長井はいつまでも小長井のままです。これからもお互いが力をあわせ、この町の良さを引き継ぎ、更に素敵で住みよい地域にしましょう。

よろこび・かなしみ

（敬称略・順不同）

【おたんじょう】

誕生日	出生者	保護者	地区
1/6	小溝 大和	大志	井崎四
1/26	中村 恭子	恵三	釜一
1/26	中村 峻佑	恵三	釜一

【おしあわせに】

新郎♥新婦	地区
音山 英昭	井崎一
元川由紀子	多良見町
森 久	小川原浦二
山口 香織	高来町

【おくやみ】

死亡者	年齢	地区
宮崎 敏美	77歳	釜一
毎熊可奈子	15歳	釜一
池田 政次	56歳	黒仁田
立山 朱美	53歳	小川原浦四
早田 テイ	86歳	牧三

※個人情報保護のため、届出者等の承諾分について掲載しています。